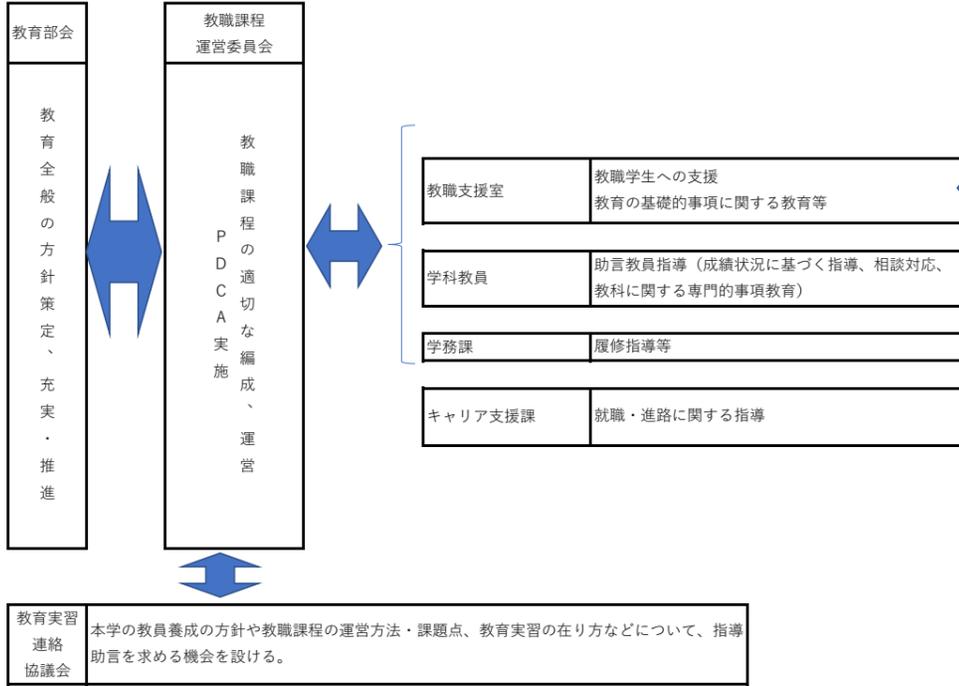


「静岡理工科大学教職課程における、教員養成の目標達成計画」

【本学の教職課程支援組織】

教員養成の理念「本学の使命を学生自ら教育の使命として自覚し、技術者育成に貢献できる教員を養成する」



【教職課程履修学生】

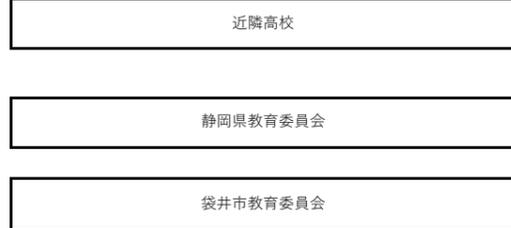
「豊かな人間性、ものづくりの技術力及び進取の気性に富んだ指導力等を備えた教員となり、高校教育、特に工業・情報・理科・数学教育の振興に貢献できる」ようになる。

4年次	集中	・教育実習を通して教員になるための基礎的実践的能力と態度を養い、これまで学んだ専門的な知識を学校教育現場において活用することができる。
4年次	後期	・教職課程の総仕上げとしての常識・素養、論理的な思考力・表現力を身に付け、教員資質をさらに向上させ、自らの教育観、教職観を持つことができる。
	前期	・研究テーマに関して、能動的に問題の抽出、実験、データの収集、解析を行い、解決策を提案することができる。
3年次	後期	・高校生を指導するに求められる教育方法・技術について深く理解し、今後求められる人材を育成するために必要な教育方法を理解し、情報機器を活用して、適切な教材で指導する技術と能力を身に付ける。
	前期	・工業科教育における学習指導法の基本を理解し、実践的な指導ができる。
2年次	通年	・特別支援を必要とする児童生徒の特性を理解し、支援の方法について理解する。
	後期	・教育相談の理論と技法を理解すると共に、生徒指導、進路指導に関する基本的な意義と役割、指導方法を理解する。
2年次	前期	・教育課程論において教職課程の意義や編成方法、教育に関する各種制度を理解する共に特別活動・総合的な学習の時間の教育的な意義を理解する。
	1年次	後期
1年次	前期	・各教科の概論を通して、多角的な視点で捉え包括的に学び、理解する。
	前期	・体育、外国語コミュニケーション、情報機器の操作に関する科目を学び身体及び意思疎通の基礎的能力を身につける。
1年次	前期	・教育原理を通じて教職の基本的概念を学び、さらに生徒の心理的発達と学習意欲などについての教育心理における基礎的理論を理解する。

教員採用試験
教育実習

教育実習先開拓

【都道府県及び市区町村教育委員会、学校、地域社会等との連携、協力】



・教育実習
・就職等

教育実習先提供
情報提供
ボランティア・学校体験活動の機会提供